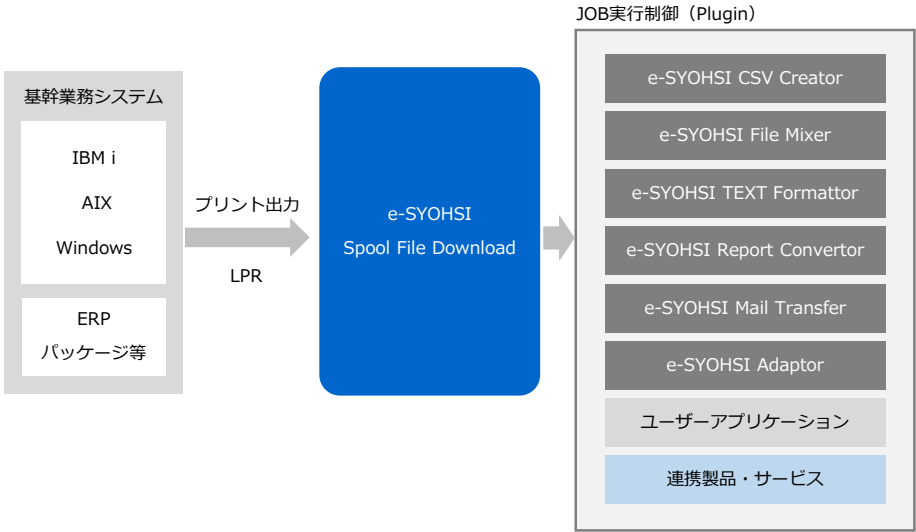


e-SYOHSI Spool File Download V3.1 概要

基幹業務システムの情報活用・応用を主体とした業務要件に向けて、Usability（操作性）の向上、Scalability（拡張性）の確保を期待しつつ変化・拡大する業務要件に自由度高く適応するには、オープンシステムとの多種多様な連携構成が組めるシステム基盤の構築が理想的です。

e-SYOHSI Spool File Downloadは、基幹系システムのビジネス情報をオープンシステムへ橋渡しする連携システム基盤の構築に役立つソフトウェアで、主に帳票データの受信・加工、後続システムへのダイナミックな連携を制御するのに役立ちます。

基幹業務システムの既存資産を活かしビジネスロジックをできるかぎり変更しないで情報活用するための解決策としてe- SYOHSI Spool File Downloadをご提案します。



特徴

■ 帳票データ受信型サービスシステム

LPR印刷方式に対応する帳票データ受信型サービスシステムです。
Windows環境でLPDサービスとして動作し、LPR印刷要求によるデータ通信の受信と加工保存を行います。複数のプラットフォームからの複数の要求を並列受信でき、個別のデータ・帳票毎に処理バリエーションを選択することができます。
複数のNIC（ネットワークインタフェースカード）を搭載するWindows環境でも各IPアドレスでの並行した受信が可能です。

■ 受信データの形式変換

基幹業務システムで出力する帳票データをオープン環境で活用するためのデータフォーマットに変換することができます。
・帳票プレーンテキスト形式
・CSV形式
・PDF形式
・無変換

基幹業務システムの出力データ形式により変換可否がありますので事前にご相談ください。
CSV形式、PDF形式への変換には、別途e-SYOHSI製品の追加が必要です。

■ 仕分処理

帳票ページ上の特定位置の文字列でページを自動分類し、それぞれを個別の帳票データとして処理することができます。

基幹業務システムの出力データ形式により変換可否がありますので事前にご相談ください。

■ 変数処理

帳票ページ上の文字列を変数として活用することができます。
取得した変数値は、出力するファイル名や後続処理へ引き渡すことができますので、柔軟な制御を行うシステム構築ができます。

基幹業務システムの出力データ形式により変換可否がありますので事前にご相談ください。

■ 制御情報の付与

出力データの先頭に任意の制御情報（テキスト、バイナリー）を付与することができます。
制御情報への変数適用も容易ですので、後続処理への動的な制御手段として活用することができます。

■ 制御ファイルの出力

任意の情報（テキスト、バイナリー）で記述した制御データをファイル出力することができます。
制御データへの変数適用も容易ですので、後続処理への情報引渡として活用することができます。

■ 後続システムの動的実行

出力ファイルを保存後に任意のコマンド、バッチファイルまたは実行ファイルをシームレスに実行することができますので、後続の業務システムや様々なソフトウェアへの自動連携を組むことができます。

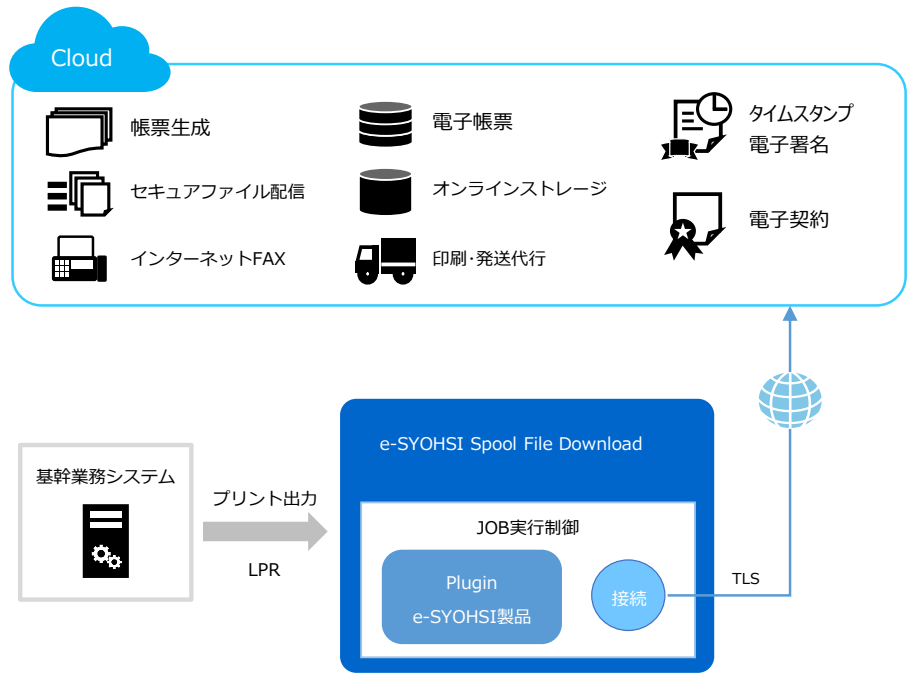
■ 実行結果の記録

処理の結果はe-SYOHSI標準ログに記録し、付属のログマネージャー（ログ検索/表示機能）で容易に確認することができます。
エラーが発生した場合は、Windowsイベントログへの記録も行います。記録ログの内容には、後続システム実行時の標準出力/エラー標準出力情報も含まれますので、お客様にて作成したコマンドの後続実行結果も標準ログおよびWindowsイベントログに出力することができます。
また、メール通知機能でシステム管理者等への通知も可能です。

活用例

■ クラウドサービスとの連携

社内・社外・取引先への業務情報の伝達方法として、印刷物を配送する、CDやDVDメディアに記録して配送する、電子メールにファイル添付して送信する、FAX送信するといったように様々な方法があります。
インターネットファイル配信などクラウドサービスを活用した方法もその一つです。
例えば、インターネットファイル配信サービスの活用により、セキュアな送達履歴の把握といったトレーサビリティの確保に加え、配送等にかかっていたコストの大幅な削減が実現できます。
e-SYOHSIの制御機能で、基幹システムとの連携によるファイル配信の自動運用、ランダムに作成したファイル類を自動的に束ねてファイル配信するなど運用に即した柔軟なシステム構成が実現できます。



■ 帳票出力のオープン化、電子化、配信

実績と信頼ある基幹系業務アプリケーションへの変更を最小限に留め、帳票処理を従来通り運用しつつ帳票マイグレーションを行う。最小限のコストと期間で実施する帳票マイグレーションでは、印刷データの配置や編集を基幹系に残し、オープン環境で提供される多種多様で安定したソフトウェアとの連携により、繊細なオーバーレイの適用や、PDFファイルへの変換および電子メールへの添付送信、FAX送信などを低リスクでスピーディーに実現できます。

